東京工業大学原子炉工学研究所 助教 哲生

京都大学原子炉実験所 助教



澤田 全原発停止をどう見たか 五月五日に北海道電力泊原子

に発電を停止しました。これで全国 の原発五十基がすべて止まり、日本 から四十二年ぶり

力発電所三号機が、定期検査のため

んは、どこでどうご覧になりました

えたわけです。も ちろん、冷温停止 この状況を小出さ りませんが、まず なったわけではあ 発そのものがなく 状態ですので、原 に「原子の火」が消

小出 か。 だと思います」と発言しました。 は、子供たちへの最高のプレゼント の日に日本の原発が全て止まること た。その席で私は、「日本では五月五 するシンポジウムに出席していまし カゴ大学で核と原子力の関係を議論 日はこどもの日という祝日です。そ その日はちょうど、米国のシ

き起こりました。日本にある全ての すると、会場から大きな拍手が沸

●総力大特集

大変嬉しいことです。 原発が停止したことは、 ては大変な危機感を抱いているので 私は逆に、全原発停止につい 私にとって

実感しづらい面がありますよね。 もすぐに我々の生活が何か劇的に変 わるわけではないので、その影響を 他方で、原発が全て停止して

りません。問題は、真夏のピーク電 原発などなくても何の問題もあ 電所が全て停止し、それを代替して いるのは火力発電所ですよね。

量消費する季節ではありませんか

少なくとも、いまは電力を大

実の深層を見ないといけないのでは 問題は、実に皮相的です。我々は現 澤田 電力が足りる足りないという

ても何も困らない状態です。

ないでしょうか。つまり、原子力発

すら私は充分に足 うえ、そもそもピ りると発言し続け ないかというだけ ーク電力なんて真 てきました。その の話ですが、それ 力が足りるか足り

が低迷しているわけで、ピーク電力 はリーマンショック以降、経済状態 時間だけの話なのです。それにいま 夏の数日の午後数

ちています。本当は、原発などなく の時ですら電力消費量はガタッと落 しようと思えば何十兆円、それこそ 起きている事故の被害を本当に補償 べきではありません。いまの福島で

が、私から見れば想像もできない汚 被害を被っています。現在、汚染さ何百兆円かかるか分からないほどの 住民を帰還させると言っています れている面積に対して、政府はごく 部だけを強制避難にして、 あとは

染度です。 放射線管理区域から物を持ち出す

際にも汚染の基準値があって、

どん

なものでも一平方メートル当たり四

小出 そうです。それしかありませ

澤田 料費が余分にかかっている。原発を ん。

小出 そんな瑣末なことを問題にす

遣い」をしているのです。

動かしていればかからなかった「無駄

年間三~四兆円という莫大な燃 化石火力を動かすことによっ

と思えば、 す。それを法律に則って賠償しよう 東京の一部ですら生じているんで 東半分、 それを遙かに超えた汚染が福島県の う法律が日本にはある。ところが、 万ベクレルを超えてはならないとい 栃木県、群馬県の北半分、 日本国は倒産します。そ

ろが、賠償できないからといって国 家は住民を見捨ててそこに住めと言 れほどの汚染が生じています。とこ っている。その人たちの苦痛の重さ お金で計ることもできません。 何十兆円、何百兆円というの

めさせればいいのです。

に電力を供給できるシステムにすべ ば、そのような下請け企業に優先的 小出 もちろんです。もしそうなら

きであって、大企業の電力使用をや

さわだ てつお 1957年、兵庫県生まれ。 るいは工場を海外に移転させてしま 言わずに日本から出て行ったり、 より大企業など特に製造業は、 物理科学系卒業後、三菱総合研究所に入社。ドイツ・カールスルーエ研究所客員研 金 究員を経て現職。 額です。 システム安全など)、核不拡散

う。 刻な影響をもたらしますよ。 多くを占めます。産業の空洞化は深 気を大量に使う工場は下請け企業が 体力がある企業はまだしも、電

問職。専門は原子核工学。特に 原子力安全(高速増殖炉の炉 ュリティの研究に従事。原子力立地地域の 住民や都市の消費者の絆を紡ぐ『つーるde アトム』を主宰。近著は『誰も書かなかった福島原発の真実』(WAC刊)。 電気料金の値上げに すでにとんでも Ł いかないにして うか。そこまで 補償費用だけで いわれる復興・ くる数字でしょ はどこから出て

六兆円とも 何も 5, 社、 小出 か。 にしなければならないのにしてこな かった。それは日本の政府や電力会 いうのなら仕方ありません。本来な 電気が足りないといって出て行くと 行ってもかまわないということです 巨大産業がやり方を間違えてい 日本で電力の自立ができるよう 本当はいけません。しかし、

世界の現実

あ

たからです。

澤田 安全に動かすことは可能だと思って とそれに伴う大津波に耐えた女川原 んどん市場に参入し、世界中で争奪 は中国やインドなど開発途上国もど 子力発電所の例などからも、 合戦が繰り広げられているのが現状 いるんです。それに、化石燃料市場 私は、一千年に一度の大地震 原発を

澤田

すると、大企業は海外に出て

激突大闘論[2] ●総力大特集

のです。いま、 ていること自体に大きな問題がある 界のエネルギー資源の七五%を使っ ば、先進国と呼ばれている国々が世 てはなりません。そもそも本来なら に貧しくなることなど、絶対に許し 資源価格の高騰が起こる。すると、 も済む国が燃料を買い漁ることで、 かせば市場に資金を投入しなくて 々は飢餓に直面している。 国はより資源が手に入りづら そうです。貧しい国々がさら ますます困窮してしまう。 世界の本当に貧しい 絶対的 こいで ひろあき

1949年、東京生まれ。原子力の平和利用 を志し、1968年に東北大学工学部原子核 す 工学科に入学。原子力を学ぶことでその危険 性に気づき、1970年、女川の反原発集会 への参加を機に、伊方原発裁判、人形峠のウラン残土問題、JCO 臨界事故などで放射線 きだと思うのです。 被害を受ける住民の側に立って活動。 の専門家としての立場から、その危険性を訴え続けている。著書に『原発のウソ』(扶桑 社新書) 『騙されたあなたにも責任がある』(幻 冬舎)など多数

と同時に、

行くということ 資金が出て

により多くのエ

作り出してしま ネルギー源を頼 るような状況を

うこと自体が間違いであって、 いる。 のように享楽的な生活ができるとい そんなときに、金さえあれば日本 それが世界の現実です。 日本

人はいままでの経済成長を根本的に

そいまは直接的に我々の生活を脅か

しているわけではないので実感とし

ギーセキュリティ

の危機が、

それこ

ŋ

エネルギーの安定供給、

エネル

途絶えてしまうかわからな

11

つま が 日

本のように、

原発をうまく

貧困に陥っている人々が十

億人も

うわけです。

イラン

のホルムズ海 つ石油の供給

例などもあり、

覚したうえで、どのようにすれば豊 かに生きられるのかといった文化を ルギー資源がない国であることを自 反省して、自分たちはもともとエネ

澤田 作らなければいけない。 私は資源小国の日本こそが、

くる。

大きな危機として常に付きまとって

て持ちにくいのですが、

潜在的には

原発による豊かな文化社会を世界に

小出 のごとく使えると考えていること自 ルギー源をほとんど持たな 地下資源という意味でのエネ い日本

のエネルギーで成り立つ社会を作る らなければなりません。 ませんから、その間は化石燃料に頼 在り方を変えることはすぐにはでき 体が異常なのです。もちろん、 いまみたいにエネルギーを湯水 あとは自 玉

めるということ

原発を止

澤田 思います。 ですから、 自立を図るために

という道を歩まなければならないと

51 ● WiLL-2012年7月号

能だとお考えですか?それとも、再生可能エネルギーで可原子力が必要なのではないですか。

小出 原子力の燃料であるウランな

ルギーに頼る以外に道はありませれ枯渇します。当然、再生可能エネ水のように使ってしまうなら、いず

て化石燃料すら、人類がこうして湯を超えることなどできません。そし

の開発にしろ風力にしろ、いまから状況にはありませんが、太陽光発電でいますぐ日本が自立できるというん。もちろん、再生可能エネルギー

ければいけません。前で生きられるような構造を作らな大きくしながら、日本という国が自ずです。そのようなものを少しずつ

やればそれなりに技術は発展するは

子力だと思います。いざとなれば、澤田 そのために最も有効なのが原

海水ウランもあります。日本にはエ

ネルギー資源がないからないなりの

に戻れということですか? 生活をしろということは、江戸時代

す。つまり、いまの産業構造を根代後半か七○年代に戻れと言っていい。 そうではありません。六○年

ද

して成り立つ社会へと方向転換する量を二分の一か三分の一にまで落と本的に変え、日本のエネルギー消費

澤田

いまはそうかもしれません

べきだと言っているのです。

原子力と核

澤田 その「節電要請」は乱暴だと思

います。無理をすれば、世界第三位

ガタになりますよね。の経済大国である日本の国力はガタ

すよ。

小出
国土面積で世界の数%しかな

体がおかしいということに気づくべである必要があるのですか。それ自い国が、なぜ世界第三位の経済大国

きです。

中国などに呑み込まれても構わない戻し、ますます国力を増強している消費量を六〇年代後半か七〇年代に澤田 それなら、日本のエネルギー

ていないのです。
の二分の一しかエネルギーを消費しの二分の一しかエネルギーを消費し

はたちまちに萎んで滅んでしまいまっしゃるとおりにしていたら、日本に増えていきますよ。小出さんのお増強させ、エネルギー消費量も莫大増、今後は原子力を推進し、国力をが、今後は原子力を推進し、国力を

ば、自衛もできなくなるじゃないで澤田 経済的なパワーがなくなれ小出 どうしてですか?

小出 そのような考え方が根本からすか。

の暮らしや心の糧として役立つよう 子のエネルギーを平和に利用し、人々

だって日本では「自衛」隊ですが、 攻撃は最大の防御というように、 世界的にみて軍事力を持っている国 境も世界の平和も維持できません。 るなんて思っている限りは、地球環 界第六位の軍隊です。軍事力で勝て 争では必ず攻撃するからです。いま んてことはないのです。なぜなら、 いや、現実を見てください。 世 戦

小出 構造を変えなければいけない。 が発言力も持っているじゃないです そうです。だからこそ、 その

た永井隆博士が示唆したように、 そのためにも、長崎で被爆し 原

私は思います。それに、原発を廃止 立つべきが被爆国・日本の責務だと にしなければならない。その先頭に したからといってすぐに構造が変わ

小出 もちろんです。でも、 原子力

るわけじゃありません。

間違っているのです。戦争で自衛な

せん。 をやっている限りはその構造のなか にいるわけで、変えることができま

ませんよ。 澤田 それは、 一国平和主義に過ぎ

には、 小出 ん。世界全体の平和主義になるため 原子力を捨てるしかないので 一国平和主義ではありませ

澤田 す。 日本が原発をやめるといえば

世界は原発をやめますか?

中国を

を導入しようとしています。 油国のサウジアラビアですら、 はじめ韓国、インド、ベトナム、産 原発

澤田 小出 それでは全く問題の解決にな やめないでしょうね

小出 与していくべきです。 世界の原発増強の現実に積極的に関 っていないじゃないですか。 世界の国々が原子力をやめら 日本は

小出

す。 ではありません。核兵器を持ちたか た動機は、 れない理由は、原子力は核だからで ったからです。 日本だって原子力をやりはじめ 発電をやりたかったから

フランス、中国です。つまり、 任理事国は米国、ソ連、イギリス、

一等国になってしまった。国連の常 日本は第二次世界大戦で負けて、

です。日本の政治家は、二等国から な国がいまも世界を支配しているの 器をもっている国々です。そのよう 国ということと連合国のなかで核兵

るかといえば、核兵器を作る能力を ないと考えたわけです。ではどうす 這い上がらなければ国家が成り立た

和利用を分けて考えようとしている 澤田 ら原発を作ることにしたのです。 わけですよね 持つために「平和利用」を標榜しなが しかし、日本は軍事利用と平

違います。もともと一緒だか

ら、分けて考えることができないも のなのです。

通するものは多いですよ。 たしかに、技術的な面では共 しかし、

ないというポリシーを掲げている。 日本は非核三原則があり、核を作ら 掲げていますが、日本政府の

は、こう言っています。 「自衛のための必要最小限を越えな

い戦力を保持することは憲法によっ

月五日の参議院における政府答弁で

公式見解は違います。一九八二年四

限り、 ても禁止されておらない。したがっ 右の限度にとどまるものである 核兵器であろうと通常兵器で

は禁ずるところではない」 核兵器だって持っていい、とはっ

せん。

あるとを問わずこれを保持すること

きり言っています。これが日本政府

澤田 しかし、原子力基本法には平 の公式見解です。

和利用に限ると記されていますよ

しないという決め事になっているじ ね。それに憲法をはじめ、軍事利用

小出 澤田さんはあると思っている 利用はないんですか? ゃないですか。では、原子力の平和

のですか?

そこに人類の叡智があると。たしか澤田 私は、あると思っています。 に、技術というのは生活の糧にも使

をはじめ、あらゆる技術がそういう えますし武器にもなります。原子力 側面を持っている。しかし、叡智を

澤田

それについては、地下三百メ

思っているんです。原子力がダメな ら他の科学技術もダメとなりかねま 持って使い分けていく方策があると

三百年間監視する

と足りなかろうと、原子力は選択す 小出 私は、エネルギーが足りよう

を言う前に、原子力に手を染めると ルギーセキュリティとかそんなこと べきものではないと思います。 いうことは始末に負えない毒物を産 エネ

み出すということなのです。 ョン」と言われてきましたが、そんな 原発はずっと「トイレのないマンシ

が家だとすれば、トイレもないのに ものを作ってどうするのか。日本国 ゴミだけ作ってきたわけです。そん

ってきたのかと思います。 なバカな選択をどうしていままでや

と考えています。それに、放射性廃 器)のようなものに入れて埋めると いうことが、現実的な解としてある ートルより深い岩盤層にキャスク(容

は容易に計測できる。そして、放射 るんです。つまり、放射能のレベル 棄物は管理しやすい性質を持ってい

能は時間とともに確実に減っていく

WiLL-2012年7月号 ● 54

道から外れていると私は思います。 外挿ということは、本来は科学の常 予測すること)にすぎないんです。

百万年後などという長さは人

小出

それは、

ている期間

私はどうせあと十年 澤田さんや私が生き 、既知の資料から未知のことを推測

らない。そんなことを科学が「できる」 類が生存しているかどうかすら分か いう話です。つまり、決定的な外挿きでどのようにして安全を保つかと 小出 廃物」の処分の話は十万年、百万年後 る限りはそれなりの根拠があるけれ 側の数値を予測すること)をしてい タを基にしてそのデータの範囲の内 工学的にも対応できると思っている る。そのようなこともセットにして、 ん。科学や工学が内挿(既知のデー んです。 いまやろうとしている「放射性 その意見には全く与しませ

は安定した地層を見つけて安置す 小出 監視すると言っています。 あります。 三百年間安全だったからといって、 日本では、まずは三百年間、 しかし、

わけです。減っていく性格と感知し

やすい性格。だから、放射性廃棄物

澤田

年数については様々な議論が

などと発言すべきではありません。

澤田 安全か安全ではないかという 百万年安全だとは言えません。

貯蔵する際に用いられる容器)が何 イキャスク(使用済み核燃料を中間 ことに関連して申し上げると、 福島第一原発を視察した際に、ドラ

の建物は津波の襲来を受け、 台か置いてある建物を見ました。そ たるところに車が突き刺さってい 周囲の

る状況だったのですが、ドライキャ ね イキャスクの安全性を実感しました ないんです。それを見たとき、ドラ スクそのものは全くびくともしてい

澤田

そこは倫理観の問題になって

けないと思います。

ライキャスクは健全でしょう。でも、 や二十年で死んでしまうでしょうが そのぐらいの期間であれば、ド

澤田 そのような期間の話ではない

以下に下がる時期を見計らって処理 をリトリーバブル(回収可能)な状 況にしておいて、自然放射線レベル ですから、三百年なら三百年

小出 学であろうと、自分が責任を持って かわってはいけないと思います。 つの役割があるのではないですか。 私は、そんなことに科学がか

する。その外挿に科学と工学のひと

を科学が主張するようになってはい 年先などという責任を取れないこと 発言する範囲があるわけです。百万

命活動によって様々な廃棄物が出さ しまって話が前に進まないのです れる。つまり、生命活動は廃棄物を 結局のところ、 人類や生物の生

出すものだという観点に立てば、放 射性物質が出ることも-―もちろん

それはないにこしたことはないので ―生命活動の結果としてある。

> 生み出すということは澤田さんがお す。たしかに、生命活動は廃棄物を

なったから棄てる物と書くわけで

い換えれば、放射線は宇宙のは

むしろ管理しやすい相手だと考えら 容易に計測できる。つまり、人間が 射性物質は、場所やその量と変化が かざるを得ない物質とも言える。放 じまりから終わりまで付き合ってい

廃棄物」と「廃物」

れませんか。それが私の倫理観の根

物が食べて生きる。そのような自然

澤田

「放射性廃物」の放射能は、

のサイクルに戻れるものだった。し

放射性物質だけは自然に浄化

底にあります。

話をさせてください。私は先ほどか ちょっと原則論に立ち戻って

ていません。「放射性廃物」と呼んで

ら「放射性廃棄物」という言葉を使っ

います。 「廃棄物」というのは、ダメに どこが違うのですか?

> えば、人間が死んでも土に埋めれば て植物が吸い上げる。その植物を動 バクテリアが分解して、栄養になっ かできちっと回ってきました。たと 生んでいる廃棄物は自然の循環のな っしゃるとおりですが、生命活動が

作用がないのです。自然に浄化作用 ら、どうしようもなくなる。 がないものを自然に返してしまった

すよ。 澤田 放射性物質は自然にもありま

小出 ならないということは真実ですが、 る。それと付き合っていかなければ そうです。宇宙の開闢以来あ

新たに自然に浄化能力のないような

作るのであれば、それは捨ててはな ものを生み出して自然におしつけて い。もしどうしても「放射性廃物」を いくということはやってはいけな

私の倫理観です。 ようとしているわけです。そんなも サイクルに戻さないように隔離をし らないんです。だからこそ、自然の のを背負うべきではないというのが

己浄化性を持っている。これは管理 まり、本質的に減っていくという自 しやすく、いずれ捨てられるという 間とともに確実に減衰していく。

ひとつの可能性として、放射性物質 ことです。 また、人間の方法としての科学の

まで自然環境に害悪しか与えないも 射線利用もある。放射性物質がそこ を核変換するという技術があります そもそも、医療などその他の放

のなのかどうか……。そこに小出さ 気がします。 んと私との大きな考えの開きがある

放射線被曝のリスク

小出

では、澤田さんは被曝はリス

量化できていないものがある。 定量化できるものと、いまはまだ定 う話になるのではないでしょうか。 澤田 それは、リスクとは何かとい はあっても受け入れられると。 う認識ですか? あるいは、リスク クが伴わないような被曝もあるとい

問題視しているわけです。つまり、 は少なくとも定量化できるリスクを 人間の場合には発ガンですが、それ

スクがあるかもしれませんが、いま 小出 もちろん、定量化できないリ

> ば、 るといったことを前提にしなければ 識ですし、何よりも被曝は危険であ 閾値なし直線モデルが大方の認

いま現在の学問の到達点でいえ

とやるべきだと思います。 で我慢できるかという議論をきちん ならない。ですから、あとはどこま

問題ですが、ICRP(国際放射線 率は未だに科学的に充分解明されて 低線量放射線被曝によるガンの発症 防護委員会)は社会的・経済的リス 澤田 年間百ミリシーベルト以下の いないため、どう解釈するかという

さんのように一ミリシーベルト以上 クと兼ね合わせて判断すべきとして は危険だと言ってしまうと、避難す いますよね。現実問題として、小出

る人がいるわけですよ。 ることによる精神的ストレスのほう が大きく、そのことで亡くなってい

小出 避難させないほうがよいと思ってい 私は、お年寄りなどはむしろ

きました。

になり、様々なモデルが立てられて じるかということがこれまでも議論 がどのような被曝線量でどの程度生

> 年間に一ミリシーベルトが被曝の限 なんて起こすことは決してありませ 電所を作ってしまった。それも事故 ます。残念ながら、日本は原子力発 んと言い続けてきて、普通の人は

度ですと定めてきた。

すよね。 澤田 しかし、それは平時のときで

は決して起きない、つまり平時しか 進めてきた国も電力会社も事故など 小出
そうです。ただし、 原子力を

だから二十ミリシーベルトまで我慢 常時はないと。ところが、異常時を ないと言ってきたのです、こんな異 つくり出しておいて、「いまは異常時

澤田 しろ」と言い出している。 現地を訪れると、年間五ミリ

シーベルトぐらいになってしまう地

域の人たちから、「そこに住み続けた い、愛着のある故郷を再興し、三・ 一以前よりもさらに自分たちにと

って生き甲斐のある町にしたい」との

57 ● WiLL-2012年7月号

人たちのためにも何とか力になりた 切実な願いを聞きます。私は、その いと考えているんです。

く分かります。何百年間も先祖代々 地域の人たちのお気持ちはよ

澤田

少し伺いたいのですが、チェ

澤田

しかし、世界的には科学的に

その土地で生きて来られた人たちで

すから、たとえ放射能で汚染された

知れません。本当に途方に暮れてし を避難させたときのその重さは計り かといったら難しい。そんな人たち からといってその故郷を離れられる

まいます。

帰りたいと思う方がいるのはもち

澤田

しかし、それは国際的には認

土地は、平時であれば人々は住んで 場所なんです。ところが、日本国家 はいけないというぐらい汚れている ろんそうだと思いますが、でもその

> きることがあればしたいです。 うしかないんです。私もお手伝いで

大気汚染と地球温暖化

て、 ルノブイリ事故の放射線被害につい 小出さんはどのような認識をお

持ちですか。 小出 チェルノブイリ原発事故で急

ますよ

八人とされていますが、それから何 性放射性被曝で亡くなった人は二十 カ月かの間に、大勢の人々が亡くな っています。

を取るかということによるのです。 小出 それは、どのようにして統計 められていませんよね

の医師たちは、たくさんの被害が出 わけです。ウクライナやベラルーシ 被害があったかよく分からなかった 日 本の原爆の被爆者だって、どんな

そうなれば、住民はそこに住んで「な

んとかよい故郷を取り戻したい」と言

いからそこで勝手に住めと言った。 は住民を見捨てた。もう補償できな

> 原子力機関)のデータがいかにおか なデータを見れば、 ていると証言しています。そのよう しいかわかります。 I A E A (国際

信頼のおけるものとして、UNSC

Aの判断とそのデータを採用してい EAR(国連科学委員会)やIAE

とが進行している。それがこれから るために、IAEAなどに権威があ の福島でも進行します。 るだけであって、事実は全然違うこ ってそれが正しいと思わせられてい 小出 日本では原子力を推進してい

澤田 いうことは、付言しておきます。 してしまいますから注意が必要だと データを持ち出すことで社会は混乱 専門家がそれぞれ自分に都合のよい は様々なデータがあって、科学者や チェルノブイリ事故に対して

●総力大特集 激突大闘論**2**

もう一点伺いたいのは冒頭、原子もう一点伺いたいのは冒頭、原子のいては、どうお考えですか。

命環境のなかで人間が猛烈にエネル小出 CO₂を排出したから起きている問題など、ほとんど何もありませるののでは、どうお考えですか。

命環境がもたない。そのことに国民っとエネルギーを使えば、地球の生こと自体にあるんです。これからも

ギーを大量に使い出したというその

やって減らせるかを考える。それがが気付いて、エネルギー消費をどう

番重要なことです。

mを超えると、ポイント・オブ・ノ実に上昇しています。三百八十pp澤田 しかし、地球のCO。濃度は確

ありますよね。 不可能となる地点)という見通しが

ーリターン(そのポイント・状態を

小出 そういうことを言っている人

ないと主張しているんです。は、その代わりに原子力を使えばいと言われればそうだと思います。でと言われればそうだと思います。でら、化石燃料を使わないほうがよいがいますし、そうかもしれませんかがいますし、

押し付けてきたんです。

原発に反対する理由

小出 原子力は差別の象徴だからで子力に反対するんですか。

す。「どのような文明の技術にもリス

て背負えるのならいいんです。しか きて冬場でも家族で過ごせるようにすが、自分でそのリスクを受け入れ 稼ぎに行っていた人たちが、原発がしてもリスクはある」と言う人がいま 冬場になると地場産業が乏しく、出クは伴う。飛行機にしても自動車に もちろん一概には言えませんが、

てきたんです。け入れないといって地方に押し付け会は利益だけ享受して、リスクは受会は利益だけ享受して、リスクは受し、原子力発電はそうではない。都

ても柏崎刈羽原発にしても、地方にところが、原発は福島第一原発にし発電所は東京湾に林立しています。発力をお会に作ればいいんです。火力

域振興と国家のエネルギー安全保障 ・刈羽原発は田中角栄氏が、地 ・刈羽原発は田中角栄氏が、地 ・大が、地 ・大が、地

冬場になると地場産業が乏しく、出もちろん一概には言えませんが、んです。

59 ● WiLL-2012年7月号

なった。そのようなことを本当に有

り難いといっている人たちもいる。 や矜持を持っていた人たちもいるわ 国策としてのエネルギーセキュリテ に対して地域として協力するんだ。 わけではなく、「自分たちは国の政策 ィの増強に協力するのだ」という自負 それに、一方的に押し付けられた

を得ず選択したのです。また、職を せられてしまっていたために、やむ ば、生きるのに大変困難な状況にさ 小出 どうしてそうなったかと言え けですよ

ます。要するに、「麻薬患者」なんで なると生きていけなくなってしまい

す。ですから、これまでに作ってし

そこに得ている人たちは原発がなく

かという議論をしなければならない まった状況をどうサポートしていく

澤田たしかに誘致から三十年、 几

> 十年経って、地元にはこのままでは いけないと感じている人たちもいま

す。 外の産業を成長させなければ、さら に心豊かな将来が見えてこないと。 原発は必要だけれども、それ以

私は、そのような人たちに何かお手

小 出 そこにみんな人を集めて地方はどん 伝いできないかと考えているんです。 東京のような都会を作って、

もなく生活できない。そうなると、 どん過疎化していく。地方には仕事

れなければならなくなるという、そ 原発でもなんでも迷惑施設を受け入

のような国の創り方が根本的に間違

みやすい国に創り変えるということ 返って、この日本という国をより住 っていたんです。もっと原点に立ち

をしなければいけない。いまがその いい機会だと思います。

向に向かっているとお考えですか? 澤田では、三・一一以降、 よい方

> 小出 三・一一があって、多くの人

起きたりするわけです。しかし、こ ました。だから、それなりのデモが が原子力の問題点について気が付き

んてそんなものです。チェルノブイ れは必ず衰退します。昔から運動な

んできたという時には、一時的に反 リ事故が起きて日本にも放射能が飛

ました。そのあとで伊方原発が出力 調整実験をやろうとしたときにも、 原発運動が盛り上がったこともあり

また盛り上がりました。しかし、そ の波もやがて引く。

と愚かなことを考えているわけです いわけですし、強い国にしたいなど 他方で、国や経済界は金を儲けた

から、また原子力をやるために着々

すが、残念ながら大飯原発にしても とレールを敷いている。私はもう一 基も稼働させたくないと思っていま

伊方原発にしても、再稼働されてし

●総力大特集

まうかもしれない。

原子力規制庁は福島に

来を希望のある挑戦として見通せな くなっているという現実がある。 の若手技術者が将来を見失った挙げ 原発の波が起こることでなにが起こ っているかというと、たとえば東電 離職者が増えているとも聞きま 技術者や科学者が、なかなか将 いまや小出さんをはじめ、 そ 反

な危惧の念を非常に強く抱いていま 衰退してしまうのではないか。そん

うなると、日本の技術や科学の力が

れまで原子力を進めてきてしまった 推進させる技術なら衰退したほうが 夢がないからにすぎません。原発を たせいではなく、原子力そのものに いいのです。しかし、残念ながらこ てなくなったのは反原発の波が起き 若い人たちが原子力に夢を持

は私たちにあるだろうし、何とかし しまった。それをなんとかする責任

変換技術などを通じてやらなければ たいと私は思っています。それは核

おそらく実現できない。

研究しながら先が見えないというそ でも、その核変換ですら七十年間

な専門家や科学者は残ってほしいで ればならないと思うので、そのよう んな世界です。でも何とかやらなけ

く それは原子力を推進するためではな すし、育てたいと思います。しかし、 少なくともここまで作ってしま

学を残したいと考えています。 るかというためだけにそのような科 澤田 そもそも原子力は国策民営で った負の遺産をどうやって処理でき

膨大な「放射性廃物」を作って せん。 い。再稼働問題にしても、

やポピュリズムの材料にされかねま 物言えない東電バッシングに

人気取

電に押し付け、政府は知らん顔です。 りにも多すぎます。責任はすべて東 どは何も考えていない政治家があま 終始し、その先の具体的な解決案な

小出 す。 りももっと責任が重いのは政府で ければなりません。しかし、それよ あの連中はきちんと処罰する必 東電は絶対にバッシングしな

要があります。もはや、国家の体を

は処罰を受けるべきです。国会も汚 国が間違いを認めて謝罪し、 成していない無責任国家です。まず 関係者

澤田 染地帯に移したらいいのです。 原子力規制庁は福島に作るべ

肌身で感じることからはじめなけれ きですね。現場をまず見て、 く小出さんと意見が一致したような ばなりません。本日、 最後にようや 現実を

明確ですね。国家観がまるで見えな を導いていこうとしているのかが不 肝心の政治家がどのような方向に国 進められてきたわけですが、いまは

気がします (笑)。